

形名

VL-604HCR (冷暖房ユニット)

VL-40ALS (室外ユニット)

P-504GT (吸込パネル) P-40LTU (コントローラ)

取扱説明書

お客さま用

次のようなマークで必要な
情報を示しています**お願い** 正しく使っていただく
ための情報です。

参照ページを示します。

メモ

より便利にご使用いた
だくための情報です。正しく安全にお使いいただくため
にこの説明書を必ずお読みくださ
い。なお、ご使用前に「安全のため
に必ず守ること」を確認して、正
しく安全にお使いください。お読みになった後は、お使いになる方が
いつでも見られるところに同封の「三菱
電機 修理窓口・ご相談窓口（家電品）」
とともに保管してください。

もくじ

ページ

お使いになる前に

換気・冷暖房システムの特長とはたらき	2~3
安全のために必ず守ること	4~5
ご使用前の準備	6

お使いになる前に

使いかた

上手な使いかた	6
コントローラのなまえとはたらき	7
暖房運転	8
冷房運転・ドライ運転	9
送風運転	10
自動運転	11
キープモード運転	12
停止	12
アシスト運転	13
「入」タイマー運転	14
「切」タイマー運転	15

使いかた

お手入れ・困ったとき

お手入れ	16~17
「故障かな？」と思ったら	18
保証とアフターサービス	19
メンテナンス契約のお願い	20
仕様	20

お手入れ・困ったとき

換気・冷暖房システムの特長とはたらき

- エアリゾートは冷暖房ユニットで作った温風・冷風を天井裏のダクトを通して各部屋に送り、給気グリルから吹き出します。
- 冷暖房と同時に熱ロスをおさえた熱交換換気を行います。
(ロスナイ換気ユニットが接続されている場合)
- 運転切換・温度調節はコントローラでゾーンごとに行えます。
(温度センサもコントローラに内蔵しています)

エアリゾート

快適

空調の低風速・小風量を実現

- お部屋にある給気グリルからは、低風速・小風量・低騒音で換気と冷暖房を行います。風当たり感、運転音をほとんど感じません。
- 空調された新鮮空気を住宅のすみずみまで満たすので、快適で健康的な空間をつくります。

換気

住宅全体の計画換気ができます。(ロスナイ換気ユニットが接続されている場合)

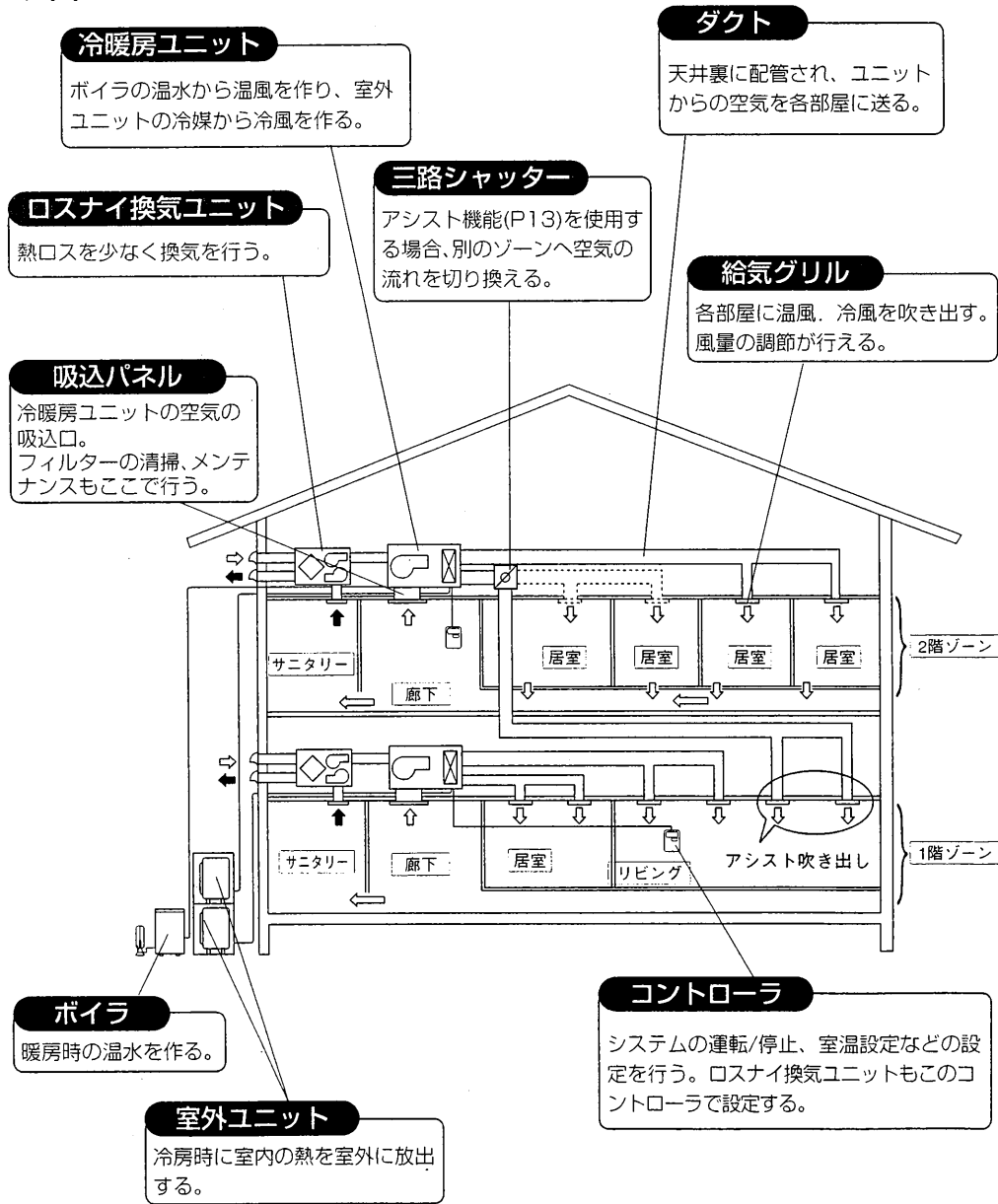
- 換気した空気を冷暖房して各お部屋に送るので、家中を新鮮な空気で満たします。
- 外気を取り入れるとき、エアフィルターでホコリ、花粉をシャットアウトするので、お部屋の空気はクリーンです。

省エネ・省スペース

省エネ・省スペースを実現

- 全熱交換器ロスナイを用いた換気で、室内の温度を逃がさずに省エネ換気を行います。
(ロスナイ換気ユニットが接続されている場合)
- お部屋には吹出グリルとコントローラがあるだけでインテリアもすっきりです。

◆各ユニットのはたらき◆



安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	--

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁止	分解禁止	水ぬれ禁止	指示に従い必ず行う	ぬれ手禁止	接触禁止
----	------	-------	-----------	-------	------

警告

可燃性ガスが漏れた場合はコントロールを入・切しない

電気接点の火花により爆発する原因になります

禁止

冷風を長時間、直接身体にあてない

体調悪化・健康障害の原因になります

禁止

移動時もお客さま自身で据付けしない

火災・感電・けが・水漏れの原因になります
施工はお買上げの販売店または専門の工事店にご相談ください

禁止

吸込パネルに指や棒を入れない

ファンが高速で回っており、けがの原因になります

接触禁止

給気グリルをふさがない

冷暖房・換気能力が低下します。換気が不足する原因になります

禁止

分解・改造はしない。修理技術者以外の方は分解・修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。分解・修理は修理技術者のいる販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください

分解禁止

製品を水につけたり、水をかけない

火災や感電の恐れがあります

水ぬれ禁止

お手入れの際は必ず分電盤ブレーカーを切ってから行う

感電やけがをすることがあります

指示に従い必ず行う

吸込パネルをあけるときは、必ず運転を停止する

運転中はファンが高速で回転しており、けがの原因になります

指示に従い必ず行う

注意

吸込パネルの着脱・清掃のときは不安定な台に乗らない

転倒などによりけがの原因になることがあります

禁止

吸込パネルを水洗いしない

ユニット内に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になることがあります

禁止

濡れた手でスイッチを操作しない

感電の原因になることがあります

ぬれ手禁止

ドレンホースは確実に排水するように配管してあることを確認する

ドレン水が漏れて感電の恐れがあります

指示に従い必ず行う

お手入れ後の部品の取付けは確実にを行う

落下によりけがをすることがあります

指示に従い必ず行う

お手入れの際は必ず手袋を着用して行う

けがをすることがあります

指示に従い必ず行う

お手入れの際は分電盤ブレーカーを切ってから行う

感電のおそれがあります

指示に従い必ず行う

長期間使用しないときは分電盤ブレーカーを切る

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります

指示に従い必ず行う

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹き付けない

火災・変形の原因になることがあります

禁止

激しい雷のときは、ブレーカーを切ってください

落雷による製品の損傷を防止できます

指示に従い必ず行う

防錆循環液の補充・強化剤の添加・交換をしてください

ボイラの防錆循環液は、1シーズンに1回~2回水位を確認してください
また2年に1回強化剤の添加、4年に1回交換が必要です
お買上げの販売店に依頼してください

指示に従い必ず行う

当社純正の防錆循環液をご使用ください

故障の原因となります

指示に従い必ず行う

VPZ-10GX

お使いになる前に

ご使用前の準備

はじめに・送風するとき

- 換気・冷暖房システムの専用ブレーカを「入」にする

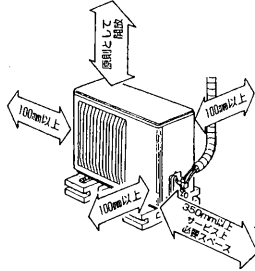
暖房をするとき

- ボイラの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ボイラの温調リモコンは通常「切」の状態にて使用します。
- ボイラの定油面器のセット、給排気筒接続部分の点検をボイラの取扱説明書に従い行います。
- ボイラの給排気筒トップ付近に危険物、可燃物や吸気口がないか確認します。
- ボイラの灯油タンクに灯油が入っていること、灯油コックが開いていること、防錆循環液が不足していないことを確認します。
(防錆循環液は定期的なメンテナンスが必要です)



冷房・ドライをするとき

- 室外ユニット付近に物がないことを確認する。
- 室外ユニットに保護カバーをかけている場合は保護カバーをはずす。



上手な使いかた

高気密・高断熱住宅は、「自然換気量が少ない」「部屋を暖めたり・冷やしたりするのに時間がかかる」という特性があります。このような特性にあわせて次の使いかたをおすすめします。

1. 在宅時……………「通常運転」をします。
2. 外出・就寝時……………「キープモード運転」をします。

換気・冷暖房システムは24時間運転を前提としています。

キープモード運転とは…外出時・就寝時など、さほど冷暖房を必要としない場合に室温を設定温度より冷房時で3℃高く、暖房時で5℃低い温度にキープする運転です。

3. 長期間留守にされるととき…停止したうえ、専用ブレーカーを「切」にします。

暖房しすぎ・冷房しすぎに注意しましょう。

ちょっとした心がけで経済的にご使用になれます。

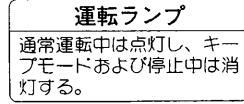
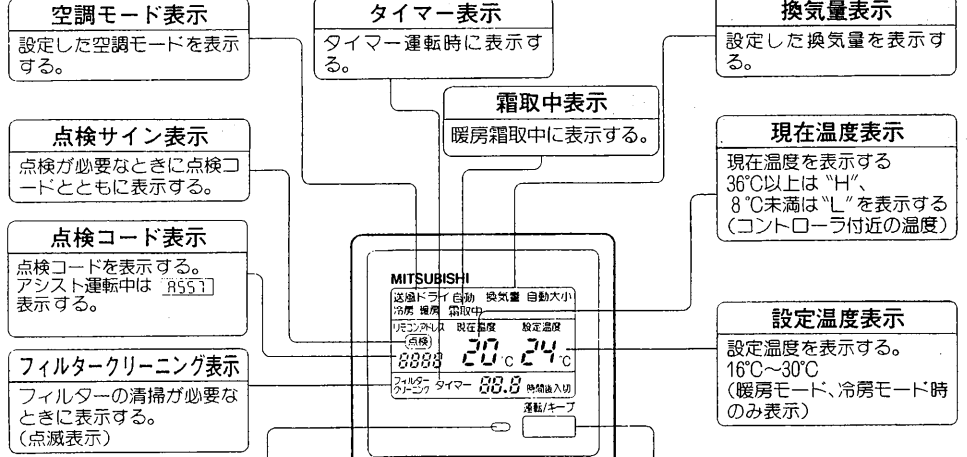
- 暖房時の室温の目安は20℃です。
- 冷房時の室温の目安は28℃です。
- ドライ運転は、梅雨時期のジメジメ感をやわらげます。

お部屋が乾燥するとき

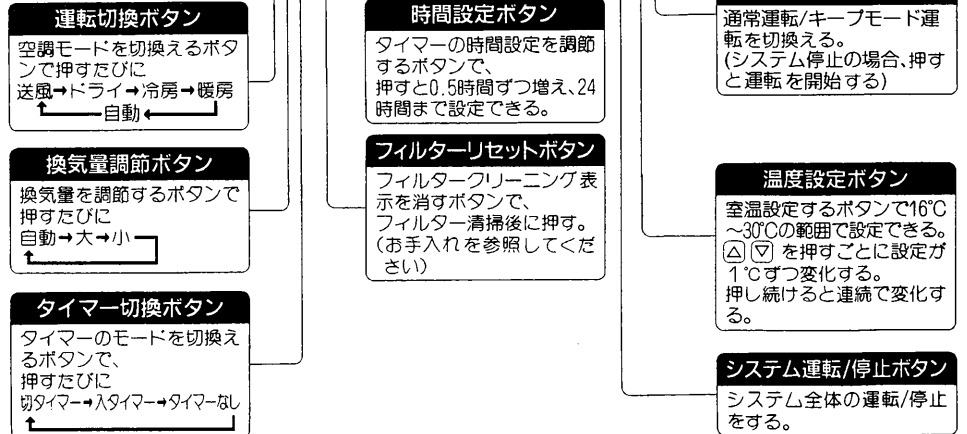
- 換気量調節を「小」にしてご使用ください。
それでも乾燥するときは、市販の加湿器をご使用ください。

コントローラのなまえとはたらき

表示部



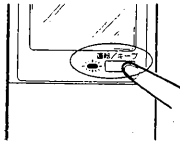
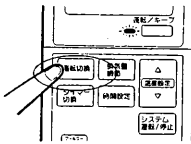

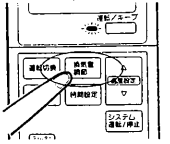
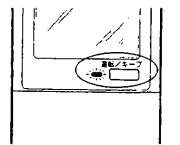
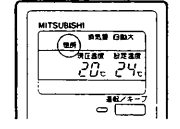
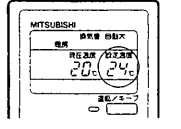



操作部



※カバー開けた状態

使いかた

暖房運転

	1. 運転開始	2. 暖房運転の選択	3. 温度設定	4. 換気量調節
使用ボタン	開始するとき コントローラの 運転/キープ 「押す」 	コントローラの 運転切換 「押す」 	温度を変えるとき コントローラの 温度設定 「押す」 	コントローラの 換気量 調節 「押す」 
合わせかた	運転ランプが点灯 	空調モード表示を「暖房」または「自動」に合わせる。 	ボタンを押し、希望の設定温度にする。 	換気量の「自動」「大」「小」を選択する。 
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ● システム運転/停止でも運転開始できます。 ● 暖房運転開始直後約10分間は十分な温風をお届けするため準備中です。そのままお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キープモード運転中には運転切換操作はできません。キープモードを解除して行います。  ● 自動運転は暖房運転と冷房運転を自動的に切換えて行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定は16℃～30℃の範囲でできます。 ● 温度設定を押すたびに表示が1℃ずつ変化し、押し続けると連続で変化します。 ● 暖房時の設定の目安は20℃です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動」に設定すると、通常運転時には「大」キープモード時には「小」に風量を調節し、「自動大」「自動小」を表示する。 ● 「大」に設定すると換気量が多くなります。 ● 「小」に設定すると換気量が少なくなります。 ● 換気量について、詳しくは「送風運転」のメモをご参照ください。 

風量について…

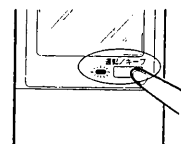
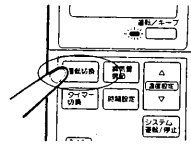
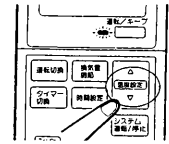
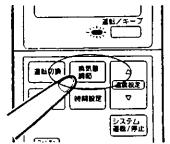
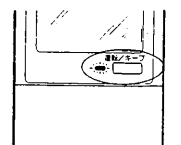





■ 冷暖房の風量は設定温度により自動で調節します。

キープモード運転  12ページ

停止  12ページ

冷房運転・ドライ運転

…ドライ運転は梅雨時期のジメジメ感をやわらげます。

	1. 運転開始	2. 冷房運転 ドライ運転の選択	3. 温度設定	4. 換気量調節
使用ボタン	開始するとき コントローラの 運転/キープ 「押す」 	コントローラの 運転切換 「押す」 	温度を変えるとき コントローラの 温度設定 「押す」 	コントローラの 換気量 調節 「押す」 
合わせかた	運転ランプが点灯 	空調モード表示を「冷房」「ドライ」または「自動」に合わせる。 	希望の設定温度にする。 	換気量「自動」「大」「小」を選択する。 
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ● システム運転/停止でも運転開始できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キープモード運転中には運転切換操作はできません。キープモードを解除して行います。  ● 自動運転は冷房運転と暖房運転を自動的に切換えて行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定は16℃～30℃の範囲でできます。 ● 温度設定を押すたびに表示が1℃ずつ変化し、押し続けると連続で変化します。 ● 冷房時の設定の目安は28℃です。 ● ドライのときは温度設定ができません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動」に設定すると、通常運転時には「大」キープモード時には「小」に風量を調節し、「自動大」「自動小」を表示する。 ● 「大」に設定すると換気量が多くなります。 ● 「小」に設定すると換気量が少なくなります。 ● 換気量について、詳しくは「送風運転」のメモをご参照ください。 

キープモード運転  12ページ

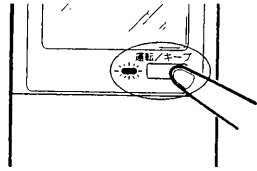
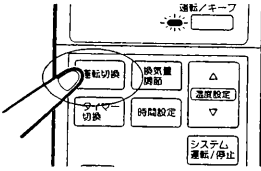
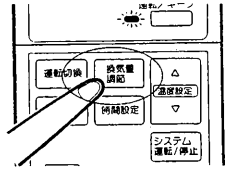
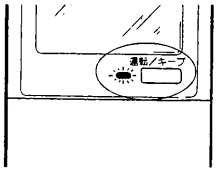

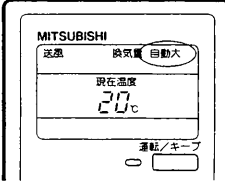


停止  12ページ

使いかた

つづき

送風運転

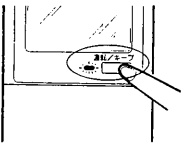
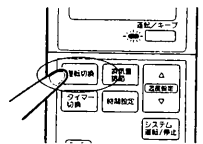

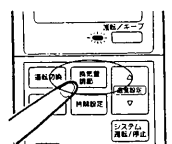
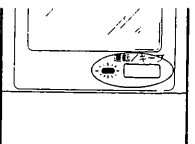
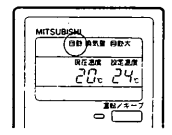
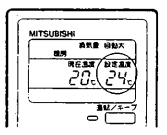
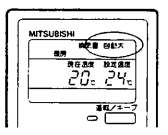


…中間期(春・秋)にロスナイ換気のみをするときに使用します。

	1. 運転開始	2. 送風運転の選択	3. 換気量調節
使用ボタン	開始するとき コントローラの 運転/キープ 「押す」 	コントローラの 運転切換 「押す」 	コントローラの 換気量 調節 「押す」 
合わせかた	運転ランプが点灯 	空調モード表示を「送風」にする。 	換気量の「自動」「大」「小」を選択する。 
メモ	● システム運転/停止 でも運転開始できます。  12 ページ	●キープモード運転中には 運転切換 操作はできません。キープモードを解除して行います。  12 ページ	●「自動」に設定すると、通常運転時には「大」、キープモードには「小」に風量を調節し、「自動大」「自動小」を表示する。 ●「大」を選ぶときは…お部屋の空気が汚れていると感じたとき。 ●ロスナイ換気ユニットが接続されていないときは、換気量は表示されず 換気量調節 操作はできません。 ●2台以上の冷暖房ユニットで連動運転が設定されている場合、他のユニットの換気量も同時に変化します。

停止  **12** ページ

自動運転

…自動運転では室温を設定温度に近づけるように暖房・冷房を自動的に切り換えて運転します。従って設定温度によっては冬に冷房運転をしたり夏に暖房運転をする場合があります。

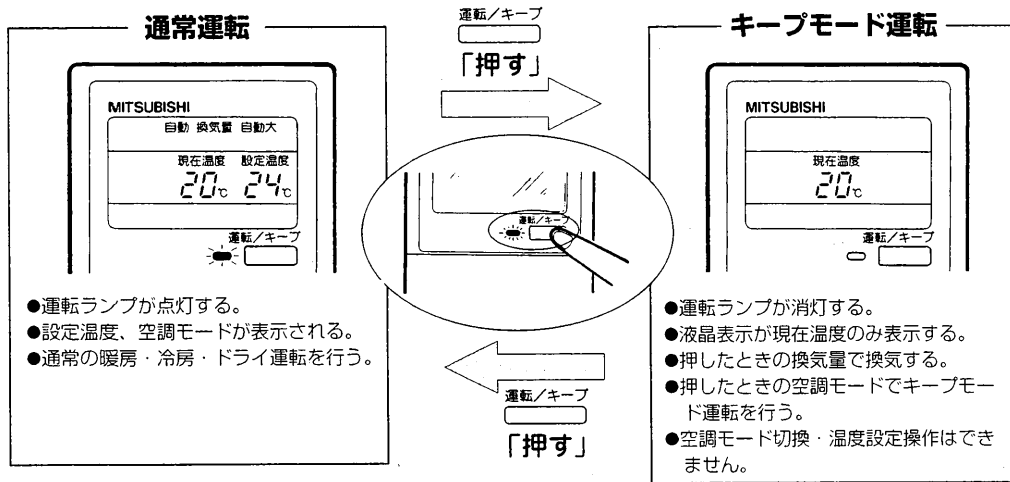
	1. 運転開始	2. 自動運転の選択	3. 温度設定	4. 換気量調節
使用ボタン	開始するとき コントローラの 運転/キープ 「押す」 	コントローラの 運転切換 「押す」 	温度を変えるとき コントローラの 温度設定 「押す」 	コントローラの 換気量 調節 「押す」 
合わせかた	運転ランプが点灯 	空調モード表示を「自動」に合わせる。 	希望の設定温度にする。 	換気量の「自動」「大」「小」を選択する。 
メモ	● システム運転/停止 でも運転開始できます。	●キープモード運転中には 運転切換 操作はできません。キープモードを解除して行います。  12 ページ	●設定は16℃～30℃の範囲でできます。 ● 温度設定 を押すたびに表示が1℃ずつ変化し、押し続けると連続で変化します。 ●暖房時の設定の目安は20℃です。 ●冷房時の設定の目安は28℃です。	●「自動」に設定すると、通常運転時には「大」キープモード時には「小」に風量を調節し、「自動大」「自動小」を表示する。 ●「大」に設定すると換気量が多くなります。 ●「小」に設定すると換気量が少なくなります。 ●換気量について、詳しくは「送風運転」のメモをご参照ください。  10 ページ

お願い ●自動運転では、上記の説明の様にご希望の運転モードとならない場合があります。この場合は、運転モードを「暖房」「冷房」にしてご使用ください。
●運転モードが「暖房」↔「冷房」に切り替った場合は、1時間後に運転を開始しますので、お待ちください。(ダクト内の結露防止のため)

使いかた つづき

キープモード運転

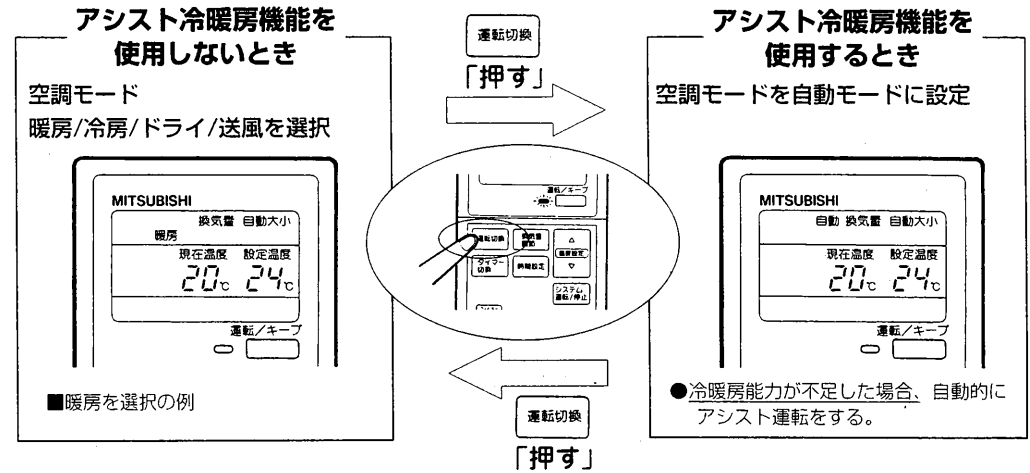
※ 人がいないお部屋など、さほど冷暖房を必要としない場合に、室温を設定温度より冷房時で3℃高く、暖房時で5℃低い温度にキープする運転です。



アシスト運転

…アシスト冷暖房機能用の配管がしてある場合のみ作動します。

※ 冷暖房ユニットの冷暖房能力が不足した時に、他の冷暖房ユニットからの温風・冷風を送って補助する機能です。



停止

…換気・冷暖房とも、すべて停止します。

使用ボタン	表示	メモ
停止するとき コントローラの システム 運転/停止 「押す」		<ul style="list-style-type: none"> ● 換気・冷暖房ともすべて停止する。 ● システム運動している他のユニットも停止する。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転ランプが消灯する。 ● 液晶表示がすべて消灯する。 	

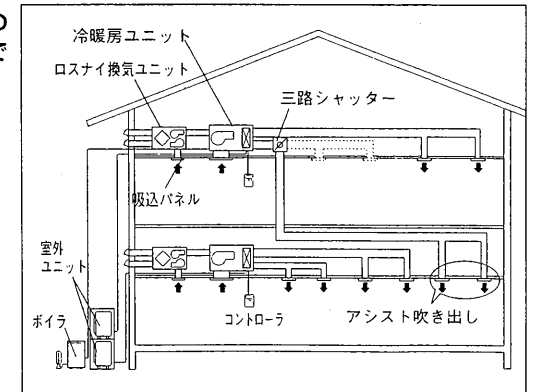
アシスト冷暖房機能

特に冷房のピーク負荷時の対応として、2階の冷房能力を1階へ(またはその逆)へ回す機能です。

● 例えば右図の住宅で、1階の冷房(あるいは暖房)能力が不足して設定温度に達しない場合、三路シャッターを動作させ、2階のユニットの冷風(あるいは温風)を1階に送って補助する機能です。

アシスト冷暖房機能が動作中は

1. アシストする側(例では2階のユニット)のコントローラは「アシスト中」"RSSY"を表示します。
2. 空調モードはアシストされる側(例では1階のユニット)と同一になります。
3. アシストする側(例では2階のユニット)のゾーンは空調能力が不足することがあります。



使いかた

つづき

「入」タイマー運転

…お目覚め・帰宅時間に合わせてお使いください。時間がくると通常運転を行います。タイマー待機中はキープモード運転になります。

	1.運転設定	2.タイマー切換	3.時間設定
使用ボタン	<p>通常運転の状態にしてタイマー「入」後の運転条件を確認します。</p> <p>暖房 8 ページ</p> <p>冷房 9 ページ</p> <p>送風 10 ページ</p>	<p>コントローラの</p> <p>タイマー切換</p> <p>「押す」</p>	<p>コントローラの</p> <p>時間設定</p> <p>「押す」</p>
合わせかた		<p>タイマー表示「入」を表示させる。</p>	<p>現在より何時間後にタイマー「入」となるか時間を合わせる。</p>
メモ		<ul style="list-style-type: none"> ● キープ運転中は「タイマー切換」操作できません。キープモードを解除してから行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに0.5時間（30分）きざみに24時間までセットできる。 ● セット時間を過ぎると、設定した運転を開始する。 ● セット時間まで0.5時間（30分）ごとにタイマー残り時間を表示する。

入タイマーセット後は自動的にキープ運転を行います。

● 取消したい場合… ボタンを1回押してタイマー表示を取消します。

● タイマー運転中に時間を変更したい場合
…変更したい時間を表示するまで **時間設定** ボタンを押します。

お願い

次のような場合にはタイマーをセットし直してください。
(セットし直さないとタイマー時間がずれるなど誤動作の原因になります)

- 停電のとき。
- ブレーカーが作動したとき。

「切」タイマー運転

…就寝時などにお使いください。時間がくるとキープモード運転を行います。

	1.タイマー切換	2.時間設定
使用ボタン	<p>コントローラの</p> <p>タイマー切換</p> <p>「押す」</p>	<p>コントローラの</p> <p>時間設定</p> <p>「押す」</p>
合わせかた	<p>タイマー表示「切」を表示させる。</p>	<p>現在より何時間後にタイマー「切」となるか時間を合わせる。</p>
メモ	<ul style="list-style-type: none"> ● キープ運転中は「タイマー切換」操作できません。キープモードを解除してから行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに0.5時間（30分）きざみに24時間までセットできる。 ● セット時間を過ぎると、キープモード運転を開始する。 ● セット時間まで0.5時間（30分）ごとにタイマー1時間を表示する。

● 取消したい場合… ボタンを2回押してタイマー表示を取消します。

● タイマー運転中に時間を変更したい場合
…変更したい時間を表示するまで **時間設定** ボタンを押します。

お願い

次のような場合にはタイマーをセットし直してください。
(セットし直さないとタイマー時間がずれるなど誤動作の原因になります)

- 停電のとき。
- ブレーカーが作動したとき。

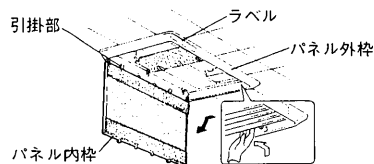
お手入れ

冷暖房ユニットを効率よくお使いいただくために、各部品のお手入れを行ってください。コントローラに「フィルタークリーニング」の表示が点滅してその時期をお知らせしますが1か月に1回以上を目安に行ってください。

お手入れの前に

フィルターのはずしかた

1 パネル内枠を開く

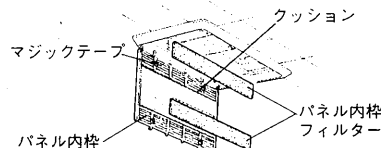


パネル内枠を少し持ち上げながら、ラベルに示す矢印の方向へ動かして開ける。

お願い

- 開けるときはゆっくり両手で支えながら開けてください。急に手を離すと引掛部が割れる恐れがあります。

2 パネル内枠フィルターをはずす



パネル内枠フィルターは2枚あります。それぞれ6か所でマジックテープ止めされていますので、ゆっくりはがす。

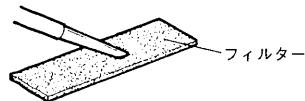
お願い

- パネル中央のクッションはフィルターではありません。

各部品の清掃のしかた

…1か月に1回以上を目安に清掃を行う。

1 フィルターの清掃

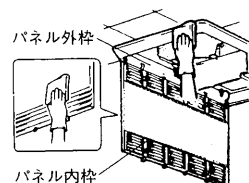


軽く手でたたか、または掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は水または、ぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。
- 押し洗いをした場合は、よく乾かしてください。
- 火にあぶることは絶対に行わないでください。
- フィルターを入れ忘れないでください。
- 長年の使用でフィルターがいたんだ場合、新しいフィルターをお買い求めのうえ交換してください。交換用フィルター(P-504F/2枚入)

2 パネルの清掃

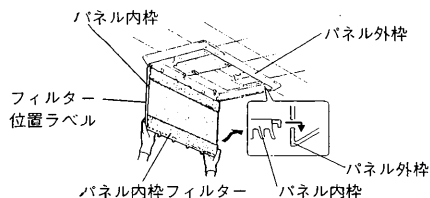


中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布を固くしぼって拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取る。

お願い

- お手入れに下記の溶剤等は絶対に使用しないでください。(変質・変色する原因になります) シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬劑

お手入れ後の取付け



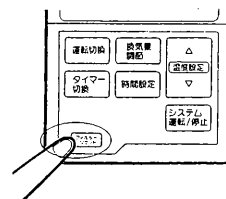
1. パネル内枠フィルター(2枚)を貼り付ける
 - パネル内枠のマジックテープに貼り付ける。

お願い

- ラベルに合わせ、フィルターの位置を合わせてください。フィルターを正しく装着しないと、内部に目づまりが発生して能力不足になります。

2. パネル内枠を閉じる
 - 両手でパネル内枠を押し上げ引掛部をはめ込む。

お手入れ後の運転準備と確認



※カバーを開けて操作する。

1. 専用ブレーカを「入」にする。
2. 運転を開始する。
3. コントローラのフィルタークリーニング表示を消す。

- コントローラの **フィルターリセット** ボタンを押す。

3. 次の確認をする。
 - 部品は確実に取付けられていますか。
 - 異常な音が出ていませんか。
 - 風は正常に出ていますか。

「故障かな？」と思ったら

現象	説明
冷房運転しても、3分間ほど冷風が吹出さない	■室外ユニットを保護しています。 ※そのままお待ちください。
暖房運転しても、10分間ほど温風が吹出さない	■十分に暖かな風をお届けするため準備中です。 ※そのままお待ちください。
部屋が乾燥する	■換気モードを、換気量「小」でご使用ください。 ※それでも乾燥する場合は市販の加湿器をご使用ください。
運転を開始するときや、室温調節器が作動し運転を開始したとき「シュー」と音がる	■ユニット内部にガス(冷媒)が流れ始めた音で異常ではありません。
吹出グリルから霧を吹出す	■室内の温度条件によって起こることがありますが異常ではありません。
室外ユニットから水または水蒸気が出る	■冷房時に、冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。
ときどき「ブシュ」という音がる	■ユニット内部の冷媒の流れが切替わるときの音です。
部屋がにおう	■空気中に含まれた、たばこの煙・化粧品・食品などのおいが機器に付着しそれが吹出ることがあります。 また、他の部屋の臭いが流れ込んでくることもあります。 (台所で調理中は必ず換気扇を回してください。室内ユニットの吸込口のそばでたばこは吸わないでください)窓を開けてしばらく運転してください。
よく暖まらない よく冷えない	■温度条件や広い家の場合には冷暖房能力が不足する場合があります。 ※局所的にエアコンとの併用をおすすめします。 ■アシスト機能が働いている場合、アシストしているゾーンの冷暖房能力は低下します。 ■室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？ ※室内ユニットの周りに必要な空間をとってください。→P6 ■フィルターにほこりやごみがつまっていますか？ ※フィルターは定期的に清掃してください。→P16 ■各部屋の給気グリルは風量調整ができます。 ※給気グリルの取扱説明書の方法で風量を増減してください。
運転直後に吹出グリルから冷風がでる	■ボイラのヒートアップに時間が必要です。換気暖房ユニットに温水が送られ温風がでるまで、しばらくおまちください。
ボイラの運転が停止した	■ボイラの防錆循環液が不足していませんか？ ■油だきボイラご使用の場合、油タンクの灯油が空ではありませんか？ ■ガスボイラご使用の場合、ガスの供給が止っていませんか？
ボイラ運転しっぱなし	■ボイラリモコンが「入」になっていませんか？

以上の方法で点検し、処置しても直らないときは、使用を中止し販売店へご相談ください。
修理をお申しつけのときは、故障の内容をできるだけ詳しく、またコントローラの表示状態をご連絡ください。

コントローラに点検コードが表示された場合

下記を参照して処置してください。その他の点検コードの場合は、点検コードを伝え修理を依頼してください。

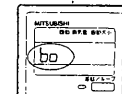
表示	原因	処置
霜取中	室外機の霜取中	そのまましばらく待つ
フィルタークリーニング	エアフィルターが長い間清掃されていない	エアフィルターを清掃の上、フィルターリセットボタンを押す
IC 2500	ドレン水がオーバーフローしている	本体からの水漏れに注意し修理を依頼する
IC 0304	冷房フィンに霜がついている 外気温度が低いのに冷房運転している	エアフィルターの清掃と吹出グリルの目づまりの確認 空調モードを「自動」から「暖房」に変更する
IC 2100	ボイラから温水が供給されない	ボイラの電源、灯油、防錆循環液を点検
B0 E-0A	水切れ	防錆循環液を補給
B0 E-17	耐震自動消火装置が作動	ボイラのリセットスイッチを入れなおす
B0 E-0E	灯油切れ 定油面器が未セット 灯油タンクに水混入 水フィルターのゴミ詰まり	灯油タンクに灯油を補給する ボイラの定油面器をリセットする 灯油タンクの水抜き ボイラの水フィルター清掃
E-01.13	点火安全装置が作動	給排気トップの遮蔽物の除去 (ボイラ)

暖房応急運転の方法

暖房用ボイラが故障などで停止した時に室外機VL-40ALS (ヒートポンプ) にて暖房応急運転ができます。

操作方法……システム停止の状態で作ってください。

- 現在の運転状態を確認するとき……換気量調節 ボタンを押す。
温水ボイラによる暖房のとき……"bo" をコントローラに表示
室外機 (ヒートポンプ) による暖房のとき……"HP" をコントローラに表示
- 暖房応急運転をするとき……換気量調節 ボタンを押す。
温水ボイラによる暖房 ⇄ 室外機 (ヒートポンプ) による暖房が交互に切り換わります。



保証とアフターサービス

「エアリゾート換気・冷暖房システム」のアフターサービスは、販売店へお申しつけください。

サービスを依頼される前に

「故障かな？」と思ったらに従ってお調べください。なお、不具合があるときは、システム全体を停止させ、販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は……
保証書の規定に従って修理致します。
〈連絡していただきたい内容〉
 - ご住所・ご氏名・電話番号
 - 形名……VL-604HCR
 - 現象……コントローラの表示状態など、できるだけ詳しく
 - 訪問ご希望日
- 保証期間が過ぎているときは……
販売店に、ご相談ください。
修理をすれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。料金などについては販売店にご相談ください。修理料金は、技術料・部品代 (出張料) などで構成されています。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの「換気・冷暖房ユニット」の補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メンテナンス契約のお願い

「換気・冷暖房システム」を末長く快適にご使用いただくためには、専門家によるメンテナンスが必要です。故障がおきてからの修理では費用と時間がかかり、お客さまにご不便をおかけすることになります。メンテナンス契約をお申し込みいただくようお願い申し上げます。

●お申し込み先

販売店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（家電品）」
(連絡先は同梱の一覧表参照)

●定期点検費用

定期点検・部品の交換の費用については、お客さまにご相談申し上げます。

●定期点検の内容

項目	点検の目安	
冷暖房ユニット	モータ(玉軸受)	5年に1回 交換
	ドレンポンプ	1年に1回 点検・清掃
	熱交換器フィン	5年に1回 清掃
ロスナイ換気ユニット	ロスナイエレメント	1年に1回 清掃
給気グリル、吸込パネル、コントローラ		1年に1回 点検・清掃
温水ボイラ	防錆循環液	1年に1回
その他システムの点検		1年に1回

仕様

(50/60Hz)

形名	循環風量	暖房能力	冷房能力	消費電力	騒音
VL-604HCR	510m ³ /h(最大)	6.8kW	4.0kW	暖房時120/160W 冷房時1720/1745W	44dB(A)

お客さま メモ <small>サービスを依頼される とき便利です。</small>	形名	
	お買上げ年月日	年 月 日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	() _____



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、
再生紙を使用
しています。